

## 令和3年度第2回奈良県公立大学法人奈良県立医科大学評価委員会議事概要

**開催日時** 令和3年8月10日(火) 15:30～17:10

**開催場所** 奈良県庁 本庁舎5階 第一会議室(小)

(Webシステムを利用した遠隔会議にて開催)

### 出席者

(委員) 垣内委員長、今中委員、竹田委員、任委員、堀委員

(法人) 宇都宮理事

(事務局) 増田医療政策局次長、小島病院マネジメント課長、吉川課長補佐

その他病院マネジメント課職員

### 議題

令和2年度の業務の実績に関する評価結果(案)について

### 公開・非公開の別

公開(傍聴者2人、報道関係者 0人)

### 議事内容

#### 令和2年度の業務の実績に関する評価結果(案)

- 事務局より「資料1 公立大学法人奈良県立医科大学 令和2年度の業務に関する評価結果(案)」の説明

#### 【質疑応答】

#### 項目別評価及び価値目標項目別評価について

##### I 地域貢献〈教育〉について

[堀委員]

- ① P7の◇3つめ「明日から使える症状マネジメント」の後にセミナーなど入れないと意味がわからないのではないかと。
- ② P7課題の令和2年度計画の2つ目の「・」の先進大学と記載すると何が先進かと問われたときに説明困難であるため、「他大学」としたほうがよいのではないかと。

[垣内委員長]

②の「先進大学」という記載について、県立医大の年度計画でこのような表記で書かれているがどうするか。

[堀委員]

お任せする。

[垣内委員長]

① セミナーの表記については追記する。

地域貢献〈研究〉・〈診療〉については各委員意見なし

II 教育、III 研究、IV 診療については各委員意見なし

V 法人運営について

[堀委員]

プラスの面として当初の目標として掲げていなかったコロナ対策を大学として行ったということを他の項目と同じように※をつけて記載しておいてはどうか。

[垣内委員長]

前文に書かれているが、後ろにも入れた方がよいか。

[堀委員]

P4は全体として記載しており場所が異なる。個別の項目にも同じように書いた方がよいと思う。

[垣内委員長]

医大と相談し、「ガバナンス体制の確立」の項目の評価欄に\*をつけて対策本部を立ち上げコロナ対策を行ったという趣旨の記載をする。

[堀委員]

P32の会議の日付について、日は不要ではないか、月までの記載でよいのではないかとと思うが、一度検討いただきたい。P34「在職率の維持」欄に記載されているのは離職率。今後統一を取った形で書く必要があるのではないか。今回はこれでもよいと思う。

[事務局]

離職率の全国平均のマイナス1%を下回るというのが目標。

[垣内委員長]

在職率の欄にマイナス記載されているのがどういうことかというニュアンスになるのかもしれない。

[堀委員]

次年度の際に検討いただき、このままでよいということであればこのままでよい。

[垣内委員長]

マイナスの下の表現が見にくいかもしれない。

## 全体評価について

[堀委員]

去年のレーダーチャートと比較して見る人もいると思う。今年度の評価はコロナの

影響でどの項目が変わっているのか、教育の部分がかなり影響を受けて凹んでいるという気がする。個々のことはアスタリスクで書いているのはいいことだが、全体を通してコロナがどういう影響を与えたかというのが短い文章でいいのでP3全体のところに特に教育面はコロナの影響を受けたと書いておく方がよいのではないか。

[今中委員]

P4の3つ目の○の先端研究部門の「先端」は不要ではないか。

また、コロナ対策において、医大病院はPCR検査等、地域貢献の取組をしているので特に評価できるものがあれば、追加記載しても良いのではないか。

[竹田委員]

コロナのパンデミックの経験・知識を診療、研究、教育に活かしてもらいたいという趣旨の記載をしてはどうか。

[堀委員]

竹田委員の意見に賛成である。コロナ対応から学んだことをどう活かすかに関わってくるが、コロナ対応に関する目標をどうするかが課題である。委員会としてコロナ対応があるということを認識しておきながら今年度と同じ評価体系・評価基準で評価するのか、ということを議論しておくべきではないか。例えば、学内でクラスターが発生して、それに対応したことについては評価する体系・評価基準がない。

[垣内委員長]

以上の意見を踏まえ、事務局と調整していきたい。また、最終案については委員の皆様事務局から送付させていただくので、確認をお願いしたい。